

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2021 winter
創刊号

【巻頭特集】 共生するみらいへ。

(株)野村総合研究所 特例子会社

NRIみらい(株) 代表取締役社長 長崎浩一氏インタビュー

就労支援の「人」

(株)D&I 代表取締役 杉本大祐氏

いこう! 就労移行支援事業所へ

“出発の場所”は“癒しの場所”でありたいーアルファ日暮里駅前

『イコウ (IKOU!)』 創刊のご挨拶

(一社) 社会福祉支援研究機構 理事長 佐野敏夫



一般社団法人社会福祉支援研究機構

共生する みらいへ。

NRIグループ特例子会社※
NRIみらい株式会社

代表取締役社長
長崎浩一氏インタビュー

※企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

株式会社野村総合研究所（以下、NRI）の特例子会社として、障がいのある方々の社会における活躍の場となっているNRIみらい株式会社（以下、NRIみらい）。ここで社員はどのような業務を実施しているのでしょうか。また、社名の「みらい」に込められた意味とは？そして、その「みらい」はどこへと続いているのでしょうか。NRIみらいの「いま」を含め、長崎浩一代表取締役社長にインタビュー形式でお話を伺いました。

NRIみらいが誕生したきっかけと社名の「みらい」に込められた意味を教えてください。

NRIはかねてから障がい者雇用を推進していたのですが、2015年のNRI創立五十周年を機にNRIみらいは誕生しました。未来に向けて障がい者雇用を維持発展させるためにも、NRI本社での推進に加え、特例子会社が必要であると判断されたためです。

社名の「みらい」には大きく三つの意味があります。一つ目は、一般的に「守られる側」と

思われる障がい者にも、実は本人さえ知らない、思いもよらぬ能力があります。その能力を活かせる社会を、未来につくりたいという「社会のみらい」。多様性を尊重し、障がいのある方々が活躍する社会づくりを目指して世の中への提言と自らの実践を進めていきます。

二つ目は「障がいのある方々ご自身のみらい」。障がいのある方々に雇用を提供するとともに、叶えたい夢や自分に対する自信や誇りを得ていただき、成長する機会を提供していきます。

三つ目は、「NRIグループ全体のみらい」。NRIグループのダイバーシティを推進する力になってもらうことで、お客様や株主様、取引先様など関係者のみなさんへ恩返しするとともに、NRIグループ社員への気づきを通し、NRIグループの価値向上に貢献していきたいと考えています。

NRIみらいの社員の皆さまが実施されている日々の業務について教えてください。

NRIみらいにおいては、コアな業務サービスを三つ設定しています。それは「届ける」「見守る」「整える」というものです。

▶「届ける」について▶

まず、「届ける」とは、例えば社内便をお届けするというものです。NRIがセミナーを開催した際は、数千社にアンケートを発送し、これを回収するといった業務もあります。

現在のコロナ禍にあつて、NRIでもテレワークが進んできています。NRIみらいでも、一時期は社員を二つの班に分けて二日に一度の出社という形をつくったのですが、「出社する／しない」が交互に繰り返されると、生活リズムが不安定になり、どうしても不調を起こしてしまう社員もいたため、原則として全社員出社に切り替えました。もちろん、感染予防をしっかり行い、NRIの協力の下、業務スペースを拡張し、ソーシャルディスタンスを十分確保した上で移行しました。

このような経緯を踏まえていただき、業務の話に戻ります。社内便をお届けことが主な業務の一つでしたが、NRI社員のテレワークが進んだことから、NRIみらいでは新たな業務を設定しました。それは、社外から届く郵便物等をテレワーク中



NRIみらい株式会社
代表取締役社長

長崎浩一

1991年、株式会社野村総合研究所入社、証券会社向けシステムソリューション部門でキャリアを積み、2020（令和2）年4月よりNRIみらい株式会社代表取締役社長に就任。

のNRI社員にデータで届けるというものです。封筒をスキャンしてファイルサーバーに置く。そうすると、例えば「この郵便物は自身をスキャンして〇〇部に送ってください」などの指示が、自宅から行えるようになります。この新規業務については、コロナ禍が我々の背中を押したという側面があります。

▶「見守る」について▶

次に「見守る」ですが、従来からNRIで使用するペンやクリップなどの用度品の管理をNRIみらいで実施していたのですが、コロナ禍によりテレワークが進むにつれ、用度品の需要は低下してしまいました。そこで、ここでも新規業務を設定しました。各会議室には感染予防の状況を監視するAICAカメラが設置されており、会議中にマスクを外すと「至急マスクをしてください」とAIPアプリが注意するシステムが導入されています。NRIみらいの社員は、

このAICAカメラの稼働点検を毎日行っています。

なお、この業務が誕生したきっかけは、私の同期のNRI社員がチーム全体でテレワークを推進する中、AICAカメラの点検のために出社している姿に出くわしたことでした。このように、NRIみらいの仕事は、NRIの新たな施策にも大きく寄与しています。

▶「整える」について▶

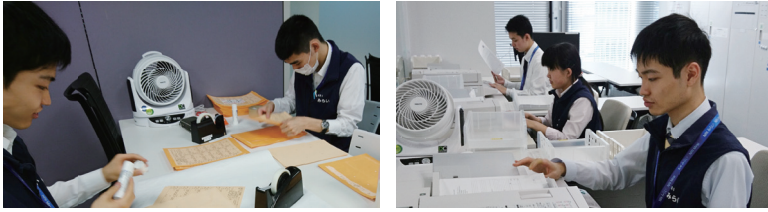
「整える」とは第一に「社員の健康を整える」ということを指します。マツサージの有資格者が常駐し、施術サービスを提供しています。しかし、コロナ禍によって3月からマツサージサービスを休止せざるを得ませんでした。そこで、彼らは何をしたか。NRIグループ内の情報共有サイトにて、「テレワーク中でもできるヘルスケア」というセルフマツサージのノウハウ記事をアップしてくれたのです。なお、この記事はこれまでに複数本発信しており、グループ内サイトアクセスランキングで一

位を獲得したものがありません。施術ができなくとも何らか、NRIグループの方々の健康維持に貢献がしたいという彼らの姿勢を、私は誇りに思っています。現在は、感染予防を徹底した上でマツサージサービスも再開しておりますが、ノウハウ記事の制作も本業の合間をぬって継続しています。

「整える」について、第二に会議室などのモニターやホワイトボードを磨いたり、使用した機器のコードを上手に整えて収納をしたりと、NRIの社員が常に気持ち良く業務ができるように「仕事の環境を整える」というサービスがあります。それは、コロナ禍によって誕生した新たな業務があります。それは、コロナ対策としてのアルコール除菌作業です。当然、業務遂行上で最も重要なことは、こうした作業を担うNRIみらいの社員の安全性確保です。この点については、NRIとも連携し、手袋やマスク、換気の徹底など、万全を期して安心して業務を遂行しています。

支援される人を、支援する人に

「届ける」サービス



社内便封筒の作成から回収・配達 / 書類データのスキャン&デリバリー

横浜オフィス受付カウンター



社員がつくったオブジェがお出迎え

「見守る」サービス



個人ロッカーの充電池充電 / 名刺の申請内容と現物の納品チェック

NRIみらいの 事業内容

「整える」(オフィス)サービス



会議室のオフィスバリューアップ / 1日のスケジュール調整

「整える」(マッサージ)サービス



ヘルスキーパーはマッサージに加え、ヘルスケア記事の制作にもチャレンジ

「ありがとう」の言葉で、 NRIの社員と交流

NRIみらいの社員の皆さまのサービスについて、NRIの社員の方々からはどのような声があがっているのでしょうか？

も、声をかけていただく機会が増えてきており、NRIみらいとNRIの社員は「ありがとう」という言葉で日々交流をしているのです。交流という点では、

会議室の清掃中や社内便のデリバリー中など、NRIの社員からは、よく「ありがとう」という言葉をかけていただきます。NRIみらいの社員は、現在はコロナ禍によって中断してはいますが、これまで毎日の朝礼にて、みんなであつて、現場でもとても気持ちの良い挨拶をしてくれています。その挨拶に心を動かされる方も多く聞きます。「初心に戻れる」と言う方もいます。また、「気持ち良い発声に癒される」という声もあり、オアシス的な役割にもなっているのかもしれない。

NRIみらい主催の「活動報告会」が年に二回開催されており(2020年度はコロナ禍により12月現在開催せず)、NRIに対して自分たちの活動の紹介をする機会があります。障がいのある社員自身にプレゼンテーションをしてもらうのですが、ここでは、あらためて彼らの能力の高さに驚かされます。

なお、NRIみらいの社員は、「ありがとう」という言葉をかけてもらえるのが非常に嬉しく、やりがいを感じます。NRI社員から

例えば、既定の時間びつたりで終了させることができます。「決められたことを確実にやる」という能力は、健常者を凌駕していると思います。それが彼らの特性なのです。健常者は、ついつい余計なことを話してしまったりと、決められた時間を超過してしまうことが多いです。からね。

NRIみらいでは、精神障がいをお持ちの方も活躍されているのでしょうか？

精神障がいの方も社員として活躍し、大切な戦力になっていきます。

例えば今年（2020年）2月に採用した社員は簿記資格を持っており、NRIの経理業務を支えています。しかし、まだまだ知的障がいの方がメイン層となっているNRIみらいにおいて、精神障がいや発達障がいの方の採用を増やし、彼らにフィットすると共に、特性を存分に活かしていただけるような業務を切り出し、職域をつくっていかねばならないと感じています。そしてそれは、今後さらなる進行をみせるであろうテレワークの分野であり、知的障がいの方も含め、ここに巻き込んでいけたらと考えています。

障がい者と健常者の、社会における理想的だと思われる連携について

どのようにお考えでしょうか？

実は本日、あるNRIの管理職社員とNRIみらいの社員とが意見交流をするワークショップがトリアルで開催されました。もともと、これはNRI社員のアンテナを高くするためのトレーニングとして、「配慮」や「ニーズの察知」のために企画されたのですが、お互いに非常に多くの気づきがあったようです。

例えば、知的障がいの方がNRI社員と対等に研修ができた。名刺交換をしたり、仕事の紹介をした。ワークショップ前は「苦労するのだろう」と予想していたのだが、それほど苦労はしなかった、というのです。これは、実際に関わり、接してみたからその気づきであり、障がい者と健常者が社会において共生していく上で、非常に大切なことだと思います。つまり、互いを知る機会を設けるのだと思います。

やりとりの「キャッチボール」をしてみるのが大切だと思います。ボールを受けたら相手への理解が進みます。「意外と良いボールを投げるなあ」と。そしてボールを受け取ったら返すのがキャッチボール。相手が取りやすいように投げるという配慮も生まれてくるでしょう。

そして、これが一番大切なことだと思うのですが、キャッチボールは必ずしも一対一の関係性だけではありません。方向のそれたボールが川に落ちてしまわないように、拾ってくれる人の存在も必要です。つまり、「周りにいてボールがそれてしまったことに気づける人」であり、「拾ったボールを投げ返してくれる人」です。

障がい者と健常者の共生は、当事者同士だけでなく、周囲が一体となって支えることができる環境を整備することが大切なのだと思えます。

NRIみらいの今後の展望を教えてください。

先にお話しましたように、今後は精神障がいや発達障がいの方の採用にも力を入れていきたいと考えています。そのような社員の幅の広がりを受け、現状のNRIグループ内での業務の幅をより広げていくと共に、グループ内だけではなくても業務量が頭打ちになつてしまうことも想定し、社外にも広げていく必要があります。

例えば、NRIのお客さまである金融機関に対するバックオフィス業務などの支援ができればと思います。幅広い人材採用と社内外の業務開拓。この両輪で障がい者も健常者も、全ての人のとってよい良い「みらい」をつくっていきたくて考えております。

今後は、精神障がいの方の採用と、業務の切り出しに注力をしていきたい



NRIと共同で企業の安定した障がい者雇用を提言する情報発信セミナーを毎年実施

NRIみらい株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-1 横浜野村ビル

e-mail : mirai-qa@nri.co.jp

hp : <http://www.nri-mirai.com/>



Person of employment support

就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

テレワークを活用した障がい者就労の仕組みを提供

株式会社D & I 代表取締役
杉本大祐氏 Sugimoto Daisuke

株式会社D & I の事業内容一例

障がい者雇用コンサルティング / 有料職業紹介 / 在宅雇用支援サービス
 「エンカク」 / 障がい者の就職・転職総合サイト運営 / 定着支援 等



Profile

1974年生まれ。福井県福井市出身。1998年新卒で大手出版社へ入社。その後、2001年人材サービス会社へ入社、人材派遣、人材紹介、他アウトソーシング事業に従事。2004年より経営幹部人材のヘッドハンティング事業を行う株式会社ジェイブレインへ入社。派遣事業責任者を経て、障害者雇用支援事業を立ち上げ、2009年株式会社D&Iを創業、代表取締役就任。「在宅就業障害者支援推進事業」を厚生労働省から受託する等、この分野の第一人者として活躍。

東京の大学に進学し、当時はアルバイトに注力。特に某大手居酒屋チェーンでは、売上や原価の考え方がアルバイトまで徹底されており、とても多くのことを学ぶことができました。その後、新卒で大手出版社に就職。そこでは百科事典などの訪問販売の営業を行いました。2か月で100人の新卒のうち40人が辞めてしまうという厳しい環境でしたが、私はうまく成績を残すことができました。連日、朝10時から深夜1時まで働いていましたが、実家が1年で360日24時間稼働の工場だったため、そのあたりは抵抗感がなかったのかもしれない。

障がい者雇用と出会うまでの道のり

私は福井県福井市に生まれ、周りには海と山、歩いて2分で日本海という場所です。幼稚園から中学まで38人で1クラス。9学年上から9学年下まで、顔と名前はほぼ一致していました。周りも自分のことを良く知っている環境の中で、あえて恰好良いようなならば、正義感が強い子供だった気がします。「義理人情」といったものも好きでした。ちなみに、姉が一人の二人姉弟でした。実家は繊維工場を経営しており、父が三代目で私も継ぐ気マンマン。小学校の文集では、将来の夢は「跡継ぎ」と書いていました。結局、工場は継ぎませんでした。

正義感や義理人情が好きなき子供時代

障がいを持つ方々を企業戦力に変えたい

26歳の時に人材サービス会社に転職。これが人材ビジネスの入口でした。そして次は、ヘッドハンティング事業を行う会社へ。この会社は経営幹部層の人材紹介を行う会社だったので、ここでは派遣事業部の立ち上げを行い、責任者となりました。さらに、障がい者雇用関連の事業も一人で立ち上げるのですが、これが私と障がい者雇用との出会いになりました。

感じていた障がい者雇用の「違和感」

そして2009年、(株)D&Iを立ち上げます。前職で障がい者雇用と出会ってからは、障がい者雇用を「生涯の職」として、ビジネスをしようとして決めていたのです。というのも、当時、多くの福祉施設や行政機関などに赴きましたが、その際、彼らが障がい者雇用に対し「腫物に触る」という感覚を持っている印象を受け、これに対して何とも言えない「違和感」を感じたからです。

最初にお話した通り、私は38人のクラスです。育ち、成長してきました。その中には、今思えば発達障がいと思われるような友人もいて、彼らと一緒に、共に何かをするのは当たり前でした。だから、「腫物扱い」に違和感を感じていたのです。私は、障がいを持つ方がいて当たり前、共に奮闘できる雇用環境や社

会をつくりたい。障がい者雇用に関する業界を私が活性化させ、競争原理を働かせることができれば、障がい者就労者が今よりも恵まれた、やりがいある就労環境におかれることにつながると思います。

コロナ禍を経て労働の感覚を変える

現在のD&Iでの事業を通して、障がい者を義務から戦力へと変えたいと考えています。そして日本の労働生産性を上げていきたい。現在のコロナ禍は、非常に大きな変わり目だと思えます。今こそ、日本人の労働の感覚を変えるべきなのです。

今までは、人に仕事がついてきました。だから、仕事ができる人ほどタスクが割り当てられていく。結果、やらなくても良い仕事までやっている。本来は、仕事に対して人がついていくべきなのです。ここで、テレワークなども積極的に活用すると、障がいを持つ方々の活躍が、一層期待されるものとなるでしょう。

株式会社D&I

< 本社 >
 〒101-0054
 東京都千代田区神田錦町 3-3
 竹橋 3-3 ビル 5F
 TEL : 03-5577-6100
 < 大阪営業所 >
 〒541-0046
 大阪府大阪市中央区平野町 2-5-8
 平野町センチュリービル 2F
 TEL : 06-7878-5570
<https://d-and-i.jp/>



『折り句コンテスト』作品募集のご案内 Oriku Contest

❖折り句とは

古くから日本にある言葉遊びの一種で、一つの文章や詩の中に、別の意味を持つ言葉を織り込む「あいうえお作文」のようなものです。お題の言葉の一つひとつの頭文字をとって、お題に関係のある文章にします。

例1

お題：わたし

「わ」 わがままも

「た」 たくさん言うけど

「し」 正直なんです！

例2

お題：あなた

「あ」 ありがとう

「な」 仲良くしてくれて

「た」 たくさんの感謝を君に



折り句作家 MIKAKO 氏 作
お題：ニッポン

❖折り句コンテスト募集要項

❖お題

何でも可です。応募される方が自由に設定をしてください。複数作品応募可。

❖応募資格

国籍・年齢不問。障がいや疾患の当事者をはじめ障がいや疾患に関わる方、何らかの原因で社会に生きづらさを感じている方。

❖応募様式

<紙などへの手書き>もしくはワード、エクセル、パワーポイント等による<文字データ>にての応募。
※手書き、データともに、イラストの有無は問いません。

❖募集期間

2021年1月11日(月)～2021年3月10日(水)

❖結果発表

2021年4月発行予定『イコウ』2021年春号誌上にて

❖優秀作品について

折り句作家 MIKAKO さん（プロフィールは本誌裏面）の折り句グッズを進呈いたします。

❖応募方法

作品に氏名（ペンネーム可）を添えて、ご契約の就労移行支援事業所（社会福祉支援研究機構加盟）にご提出ください。※本誌に掲載させていただく場合は、事前にご連絡をいたします。

折り句コンテスト開催団体

<主催>



一般社団法人社会福祉支援研究機構

<協賛>



日本折り句協会

<http://www.oriku.or.jp/>

いこう! 就労移行支援事業所へ!

大きな窓が特徴的で広々とした事業所内には、共有スペースと個別ブースがある



事業所のイメージカラーは「緑」

入口では利用者作のオブジェが迎え

<今回お伺いした事業所>

就労移行支援事業所

α アルファ 日暮里駅前 (東京都荒川区)

“出発の場所”は“癒しの場所”でありたい

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこにはやはり事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは、実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

開放感のある室内とホスピタリティ

世界で最も多い乗降者数を誇る路線である山手線。この路線の駅の一つ、日暮里駅から歩いて1分という好立地にあるのがアルファ日暮里駅前。事業所の中に入ると、まず感じるのが「すっきり」広々としている開放感。これがアルファ日暮里駅前の大きなウリの一つだと、施設長の花輪岳史さんは語る。「室内の開放感はいくつかの利用者さんから好評で、見学に来た方からも『このような環境ならば、気持ち良く訓練ができる』と言っていただけです」

広い空間に大きな窓があるため、閉塞感がない。ただ、それだけではない。開放感の秘訣はスタッフの毎日の取組みの中にもあった。アルファ日暮里駅前には設立6年目。就労移行支援事業所の中では古くからある部類に入るが、日々「支援の基本」を大切にしたいと、掃除や室内の補修、メンテナンスを徹底。これが開放感の一因にもなっているのだが、加えてプラスアルファの効果をもたらしている。

「室内に無駄な物が無いので視界が広く、利用者さんのちょっとした仕草や細かな変化にも気がつくのです。利



利用者目線を何よりも大事にする花輪施設長



ハローワークの職員の方も利用者の訓練をサポート

用者さんからは『いつも困った時に気がついて声をかけてくれてありがとう』と感謝をしていただけです(同) 利用者の中には自ら声を出して発信することが苦手な人もいますので、このような配慮は有難いことだろう。なお、利用者への声かけや掃除、メンテナンスを主導する花輪施設長は、元某大手航空会社の旅客機メンテナンス(機内・機外)の担当者であり、かつては機内の客室の座席一つひとつに座り、「乗客から機内がどう見えるのか」を確認していたという。この時に培ったホスピタリティの精神は、事業所づくりに大いに活かされているのだ。

個性とスキルを伸ばす訓練の数々

心地の良い環境で行われる就労訓練も、効果的でバラエティに富んでいる。取材訪問をしたこの日は、ハローワークの担当者を招き、ハローワークの利用方法等のガイダンスが行われていた。ここからは、行政との密接な信頼関係が窺われる。また、就労スキルを伸ばすための訓練では資格の取得支援に力が入れられており、ここでは採用企業側からも高い評価を得られる「P検」が人気だ。

自己表現やコミュニケーション力アップのためのワークとしては、例え

ば「好きなものを語ろう」が挙げられる。思い出の音楽をバックに流しながら当時のエピソードを語るといものだが、これによって利用者同士の相互理解が進み、より仲良くなれるという。

今後、事業所の利用を考えている方へ

「これから就職をしたい方はもちろん、何をしたら良いか分からないけれど現状を変えたい方や前進のきっかけをつくりたい方は、ぜひそのお手伝いをさせていただきます。コロナ対策も万全ですから直接お越しいただけますし、電話での相談やZOOMでの見学会も実施しています(同)」

就職した後も、近況報告や悩み相談で多くの元利用者が訪れるアルファ日暮里駅前。末永いご縁の扉を叩き、開けてみてはいかがだろうか。そこからは、きつと開放感のある素敵な人生が見渡せるはずだから。



事業所のブランディング冊子は花輪施設長の力作。アルファ日暮里駅前ではSNSやメディアを活用した広報活動にも力を入れており、ツイッターの登録者数はなんと5,000人。



事業所お問合せ先情報

- **アルファ日暮里駅前**
東京都荒川区西日暮里 2-21-1
MC88ビル2階
◆TEL: 03-6807-8752
- **アルファ王子**
東京都北区岸町1丁目 2-11
東亜ビル2階
◆TEL: 03-5948-4270

<https://alpha-bright.jp/>



わたしたち！就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

ストレスのないずっとシアワセで“あなた”らしい
人生探しのお手伝いをする事業所です。

ティオ中央区役所前（北海道）



北海道札幌市中央区南一条西
11-327-4 グランデビル1F

◆TEL 011-522-9370
◆E-MAIL info@tio-sapporo.jp

<https://tio-sapporo.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

『鬼滅の自立』講座

ティオで学ぶシアワセになるための自立型15原則を「鬼滅の刃」の主人公から学ぶ大人気講座です。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

人生は1人マラソンです。必ず1等賞が取れます。誰かと比べたりする必要はありません。ただし、1人マラソンで勝つための条件が1つだけあります。それはゴールを決めること。あなただけの力が発揮できるゴールを、一緒に探してお手伝いするのがティオ中央区役所前です。

Make a fresh start! 「さらに・新たに・再び」

アフレッシュいわき（福島県）



福島県いわき市中央台飯野
4-2-4 いわきニュータウン
センタービル3F

◆TEL 0246-88-6431
◆E-MAIL toiwase@afresh-iwaki.jp

<http://afresh-iwaki.jp>

これが事業所の名物ワーク！

県立公園でウォーキング

運動を行ないつつ皆でお話しながら、コミュニケーションスキルアップを図ります



障がいをお持ちの方へのメッセージ

利用者様ひとり一人の「働きたい」を尊重し、どこよりも個別支援をモットーに就労の早期実現に向けた手助けを行なっています。【さあ、あなたの人生を再び！】を心に秘めながら就職し定着を出来るよう温かい支援をスタッフ一同心掛けております。

笑顔がいっぱい 実りがいっぱい

ラ・レコルト伏見（京都府）



京都府京都市伏見区新町
5-487 トーシンビル3F

◆TEL 075-602-2332
◆E-MAIL info@larecolte.co.jp

<http://www.larecolte.co.jp/fushimi/>

これが事業所の名物ワーク！

心が晴れるワーク

「読書療法」や「シェアトーク」を行っています。



障がいをお持ちの方へのメッセージ

人はだれしも不安を抱えています。将来について、日常生活について、人間関係についてなど挙げるとキリがありません。そういった不安が少しでも和らぐように我々スタッフが支援をさせていただきます。

一緒に「グッドライフ」を見つけましょう

グッドライフパートナー延岡（宮崎県）



宮崎県延岡市古城町
1-3-17

◆TEL 0982-20-9373
◆E-MAIL info@good-life-partner.com

<https://good-life-partner.com/>

これが事業所の名物ワーク！

一人ひとりに合った 就労支援プログラム



障がいをお持ちの方へのメッセージ

グッドライフパートナー延岡は、画一的なプログラムではなく、一人ひとりのプログラムにこだわります。小さな目標を一步步乗り越えながら、一つずつ達成していくことで「不安」を「自信」に変え、本来の自分の力を感じ、さらに自然と力がついてくる。これがグッドライフパートナー延岡の支援です。本来のあなたでいられる場所、未来を一緒につくりましょう。

(一社) 社会福祉支援研究機構 季刊誌

『イコウ (IKOU!)』創刊のご挨拶

一般社団法人社会福祉支援研究機構 理事長 佐野敏夫

はじめに

この度、当機関誌『イコウ』が一般社団法人社会福祉支援研究機構（以下、当機構）の新たな季刊誌として2021年新春号より発行する運びとなりました。発刊にあたり、ご協力を頂きました皆様方に、この誌面をお借りして心からお礼申し上げます。当季刊誌は、障がいやご病気をお持ちの方々やその就労支援に携わる多くの皆さまと情報を共有させて頂き、同時に新たな時代の新たな就労や支援の形を模索していくものとして考えております。関係の皆さま方には、今後ともご理解ご協力と共に、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私たち（当機構）の願い

極論を申し上げれば、障がい福祉サービスの必要のない社会が理想



想なのではないかと思えます。しかし、現実には厳しい環境におかれています。そうであるならば、一人でも多くの方が、積極的な社会参加（就労）を果たし、働く喜び、そして自立した生活を楽しまむことができるように、その第一歩としての就労と長期就労のための支援を行なっていきたいと思います。

私たちは、国が今のような就労定着の実績による報酬体系を打ち出す前から、一人でも多くの方々に、その方の最適、最短の就労をして頂くことを目標に活動をしてきました。

また、定着支援についても制度化の前から、心のつながりを大切に支援を行なってきました。誰もが誰かのために働き、それを認められ、また見合った報酬を得て、好きな時に好きなことができる。自らも、そのことを通して人生の有意義さ、楽しさを存分に味あうことのできる社会、「ダイバシティ&インクルージョン」の具現化において、様々な形でその一翼を担いたいと願っております。

全国に61か所の加盟事業所

当機構の加盟事業所は、全国に61か所（令和2年12月1日現在）あります。個別プログラム型の支

援を中心に、数多くの資格や300種類以上のeラーニングなどを始め、多くの支援のツールをご用意しています。

しかしながら、一番の支援力は、スタッフの皆さんが自らの人生をより有意義に、より心豊かに生きようとする姿勢だと考えています。利用者さんもスタッフも、同じ人間です、一緒により良い人生を模索していきましよう。これが正解というものがないのが人生かも知れません。今できることを、今工夫できることから一歩一歩、一緒に前へ進めたら嬉しい限りです。

おわりに

当機構に関わっていただけ全ての皆様と共に、誰もが暮らしやすい素敵な日本を創造していきたいと思えます。人として生まれた誰もが、幸せになる権利があるはず。お一人おひとりが、少しでもより有意義に、より心豊かに人生を歩む、その最初の第一歩が、就労だと考えています。方法や形は、人によって違って良いと思えます。

一緒にダイバシティ&インクルージョンの具現化を目指しましょう。

社会福祉支援研究機構の目指す「就労移行支援」

- ①一人でも多くの「一般就労」を実現
- ②最適、最短の長期の「一般就労」を実現
- ③「一般就労」実現の輪を全国に



一般社団法人社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>





最新の取り組みのご報告

コロナ禍中、社会福祉支援研究機構がおくるスペシャルプログラム
「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」

当機構では、コロナ禍中において自宅に居ながらも ZOOM
で参加することのできるスペシャルプログラム「繋がってるよ!
笑顔になろうよ!」を2020年5月から配信しています。



◆第16弾◆

2021年1月23日(土)13時~

「Let's enjoy Singing」

講師：池羽 由さん

(第32回童謡こどもの歌コンクール/全国3位受賞)

◆第17弾◆

2021年2月13日(土)13時~

「体スッキリ体操!」

~正しいラジオ体操と
自宅で作れる簡単筋トレ~
講師：宮崎 紳さん

(全国ラジオ体操連盟公認/ラジオ体操指導員)



(株)D&Iとの業務提携を締結しました

当機構と(株)D&Iは、今後新たな障がい者雇用の創出及びその
長期就労継続の支援のために、業務提携を締結しました。



▼(株)D&Iの本社エン
トランス前にて

▲並んで契約書に調印をする(株)
D&I 杉本大祐代表取締役(右)
と当機構理事長 佐野敏夫(左)



(株)D&Iや杉本代表については、
P06 もご覧ください。

近日の開所情報 2020年12月1日現在 61事業所

千葉県鎌ヶ谷市にテイクハート鎌ヶ谷が開所し
ました。当機構として61番目の加盟事業所と
なります。

—2020年12月開所—
◆テイクハート鎌ヶ谷◆



一般社団法人テイクハート代表理事
一般社団法人テイクアスマイル理事
内海正登氏(写真右)

千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 4-8-1
新鎌ヶ谷平安ビル3階
<http://takeheart.or.jp/>
TEL :047-401-2691

一般社団法人 社会福祉支援研究機構
加盟就労移行支援事業所(全国61事業所)

今後も日本各地で開所・加盟が
予定されています。

全国に
応援の輪が
広がって
います!

2020年12月1日現在



❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ちの伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみなどと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、就労移行支援事業所を利用されている皆様から、次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可）／イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず）／川柳／俳句／短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部メールアドレスまで「データ形式で」お送りください。
※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ (IKOU!) 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

①一人でも多くの“一般就労”を実現

②最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③“一般就労”実現の輪を全国に

就職実績

平成31年4月1日
〜
令和2年3月31日

443名就職

資格合格実績累計

令和2年6月30日時点

4,304名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会) ◆ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルカリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級 ◆
- ❖秘書検定 ◆ ❖サービス接客検定 ◆
- ❖ビジネス文書検定 ◆ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級 ◆ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖TECC(中国語コミュニケーション検定)
- ❖ナラティブメディエーター講座
- ★…試験免除プログラム対象資格 ◆…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

